



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和8年10月号(第7号)
令和8年9月30日発行

【学校の教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

学校は 「勉強をするところ」「友達と仲良くするところ」「安心・安全なところ」

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

人生の扉 ～「今」を大切に過ごしたい

校長 藤田 昌一

私は、教（育職）員として37年目を迎えています。この年齢になると、多少体にガタがくるのは仕方がなく、耳（聴力）や目（眼圧）については、すでに専門医に定期的に通い、「経過観察」の状態です。とはいえ、その他の気になる症状（特に内臓系の症状）はなく、毎日元気に過ごしていました。

ところが、今年の間人ドッグの結果により、人生で初めての「内視鏡検査」と「CT スキャン」による精密検査を受けることになりました。

結果から言うと、「成人の2～5%に見られる所見で、無症状であれば特段の心配はない。」というものでした。それでも、検査中や検査の結果が出るまでは、最悪の結果も心配しながら、普段では考えないこともたくさん頭に浮かんできました。

※

満開の桜や色づく山の紅葉を この先いったい何度見ることになるだろう ※

「人生の扉」という歌があります。シンガーソングライターの竹内まりやさんが50歳を過ぎた時に発表した歌で、その時の思いが歌詞に込められています。今年は、この歌が心に沁みました。私の教員人生の中で、常盤小学校の子どもたちと…

「修学旅行や館岩、校外学習に一緒に出かけられるのは、あと何回だろう。」

「一緒に過ごせる日々は、あとどれくらいあるだろう。」

などが次々と頭に浮かび、子どもたちのことが一層愛おしく、そして、一日一日を大切に心を込めて関わっていききたいと改めて思いました。

※

信じられない速さで時は過ぎ去ると知ってしまったら
どんな小さなことも覚えていたいと心が言ったよ ※

※ 竹内まりや 作詞、作曲
「人生の扉」より

私の子育ての経験から、「子どもたちの成長は、思ったよりも速い」と感じています。保護者の皆様におかれましても、目の前のお子さんと一緒に毎日を過ごしている「今」を大切にしていただければ幸いです。

気候のよい時期です。学校でも、宿泊行事や校外学習、ときわっ子コンサートやときわっ子まつりなど、行事が盛りだくさんです。地域でも、「子供会」「育成会」「自治会」「公民館」などで、様々な催しが行われます。お子様と会話をするきっかけや、一緒に参加して楽しい思い出をつくる機会としていただければと思います。